

01

迅速な災害情報収集 テーマ詳細説明

01-1.避難・被害情報の効率的な集約・共有 | 多賀城市

迅速で効果的な災害対応を実現するため、災害時に職員等が収集する情報を効率的に集約し、災害対策本部や他部門等に分かりやすく迅速に共有するソリューションを募集します。

<背景>

- 多賀城市では、災害時、各部の職員がそれぞれ所掌する現場を巡回し情報を収集する。
- 現場の市職員からの報告は電話や無線機により実施され、各部の情報集約担当者が聞き取り、時系列にとりまとめて、災害対策本部へ報告する。災害対策組織内では共有された情報をWordやExcelで管理し、対応策を検討する。
- 令和4年度からは、写真、映像も共有できるIP無線機を整備予定であり、写真や動画による報告が技術的に可能になるが、現状の管理方法だと、収集されるデータが増えても情報の整理や可視化に大きな手間がかかることが予想される。

<課題/実現したいこと>

- 今後取得可能になるIP無線機からの情報（画像・動画等）を効率的に集約したい。
集約の際は、時系列の変化、地理に詳しくない担当者にも分かりやすい内容（地図上での俯瞰的な表示）とするのが望ましい。
- 現場職員からの聞き取り、取りまとめも簡単に実施できるとよい。
- あわせて、対応状況を管理し、災害対策本部及び関係部門と迅速に共有できるとよい。
- 但し、導入・運用費用を極力抑えた仕組みを前提とする。

01-1.避難・被害情報の効率的な集約・共有 | 多賀城市

<補足情報>

- 災害対策時の情報集約・共有の流れ
 - 多賀城市では、災害対策組織として災害対策本部を設置し、配下に複数の部（上下水道部、都市産業部等）を設置。各部に所属する市職員が現地を巡回し情報を収集する。
 - 現場の市職員からIP無線機等で発信される情報（画像・映像等）は本部のファイルサーバーに共有される。各部の情報集約担当者はファイルサーバーの情報を整理し、対策本部に報告する。
- 災害対策組織内で管理・共有される情報の内容
 - 各部では、日時、報告内容（避難・被害状況等）、発信者、受信者、等を管理。
 - 災害対策本部では、各部・ブロックから報告される日時、避難・被害状況、対応状況、等を管理。

01-1.避難・被害情報の効率的な集約・共有 | 多賀城市

<協力自治体のコメント>



塩竈市

Shiogama City

発災時に開設した避難所の状況や道路および公共施設等の被害状況を効率よく情報収集する方法に課題を感じていることから、本テーマのソリューションに関心がある。



白石市

Shiroishi City

道路・水道・農林部門等の担当職員が災害現場を巡回し、それぞれ担当部署へ報告し、担当部署はその報告内容を取りまとめ災害対策本部へ報告している。今後統一的な報告様式や集約の仕組みづくり等に取り組んでいきたいと考えており、本テーマのソリューションに関心がある。



利府町

Rifu town

対策本部等に直接入った災害情報の把握・対応は問題ないが、各現場で個別に把握・対応した災害情報は現場からの報告がなければ対策本部等では把握が難しい状況であり、情報集約の点で同様の課題がある。

01-2.津波避難施設の避難者状況把握 | 仙台市

発災時に市職員が参集しない津波避難施設における避難状況を迅速に把握し、安否確認等の必要な支援の手配に役立つソリューションを募集します。

<背景>

- 仙台市が設置する津波避難施設は、市職員が参集しない施設のため、配備されているIP無線機が避難者と市災害対策本部の間での連絡手段となる。
- 災害時、避難者の状況確認のため、災害対策本部からIP無線機で定期的に呼びかけを行うが、避難者側がIP無線機に不慣れまたは睡眠中で対応できない等、情報収集が難しいことがある。
- 東日本大震災時には、自宅や学校にいる親や子供等のもとに向かう途中に津波に被災された方々がいた。
- また、津波避難施設の避難者から家族等へスマホ・携帯電話なしで安否情報を伝える手段がない。

<課題/実現したいこと>

- 津波避難施設での避難者の状況（避難人数、要援護者の有無、安否確認等）を、災害対策本部、避難者双方の負担をかけない方法で把握したい。
- 避難者の安否を確認し家族等が安心できる仕組みを実現したい。
- 提案時にはソリューションに利用する通信手段を明示すること。但し、低コストで導入・運用可能な仕組みを希望する。

01-2.津波避難施設の避難者状況把握 | 仙台市

<補足情報>

- 仙台市津波避難施設の場所
[津波避難施設の整備について](#)
- 避難者への状況確認の現行フロー
 - 発災時および発災から1時間ごとに対策本部の担当者がIP無線機で避難所へ呼びかけを実施。
 - 呼びかけに応答があった場合、避難者数、周辺の状況（津波が到達しているか等）、要援護者の有無、応答者の氏名、等を確認。
 - 確認した情報は災害対策本部の情報収集担当へ共有。
- 避難者の安否確認の現行フロー
 - 避難者への状況確認時に、①「安否の問い合わせに情報を公表してもよいですか。」、「②市ホームページに避難者として公表してもよいですか。」の意思確認を行う。

01-2.津波避難施設の避難者状況把握 | 仙台市

<協力自治体のコメント>



塩竈市
Shiogama City

本市には津波避難ビルを設置しているが、市職員を配置していないため、夜間に避難してきた方の人数や必要としている物品の状況把握が課題である。